

# 生ごみ堆肥で白瓜栽培

## 新環クリの畑で収穫迎える

富士市大淵の新環境  
クリーンセンター野外  
啓発ゾーンの畑でこの  
ほど、白ウリが収穫時  
期を迎えた。

富士市のごみを考え  
る会と同センター循環  
啓発棟ふじさんエコト

ピアによる初めての取  
り組み。生ごみをたい  
肥化したものや、庭木  
の剪定（せんでい）作  
業で出た枝を細かくし  
た「剪定枝チップ」を  
活用して野菜を栽培す  
ること、ごみの活用

例を広く市民に伝える  
狙い。

たい肥には、同啓発  
棟内にあるレストラン  
FUGAKUで出た生  
ごみを使用。剪定枝  
チップは同センターか  
ら提供を受けたもので、  
土の上に敷くと実が土  
と直接触れずにきれい  
に育つなどの効果があ  
るといふ。

今年7月に苗を植え、  
エコトピア職員らが水  
やりなどの管理作業を  
担ってきた。収穫した  
白ウりは、同レストラ  
ンでサービスとして客  
に提供する予定。

今後も生ごみ、たい肥  
などを使い、継続的に  
野菜を栽培していくと  
いふ。

収穫時期を迎えた白ウ  
り

同会の時田祐佐さん  
は「この取り組みを市  
民の皆さんに知っても  
らうことで、各家庭で

も生ごみのたい肥化な  
どを実践してもらえれ  
ば」と期待を込めた。